



# けやきっ子

六栄小学校だより  
第18号  
令和6年10月11日  
文責：久保田 眞二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

## 前期の教育課程が終わりました！

本日をもって前期の教育課程が終了しました。4月11日(木)の始業式から本日の10月11日(金)まで、台風10号で2日間の臨時休業はありましたが、1～4年生までは100日間、5・6年生は101日間も登校したことになります。前期教育課程の中で、学習や運動、友達づくりなどに一生懸命に取り組み、児童はそれぞれの力を伸ばしてくれました。全員の通知表を確認しましたが、ひとりひとりの良さや担任の先生の思いが丁寧に記入しており、改めて子どもたちの成長を嬉しく感じました。六栄小学校の子どもたちは、まだまだ素晴らしい力と可能性を持っています。その力と可能性を更に伸ばせるよう、後期教育課程も職員一丸となってしっかりと取り組んでまいります。



保護者のみなさまには日頃より本校教育活動へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。後期教育課程におきましても、保護者や地域の方々のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 全ての方が安心・協力して暮らせますように

9月30日(月)、4年生は総合学習の時間に福祉体験の授業に取り組みました。長洲町社会福祉協議会の職員の方に来校していただき高齢者体験や車いす体験を行いました。高齢者体験では、体に器具を付けて動きづらさ体験したり、ゴーグルを装着して見えづらさを体験したりしました。車いす体験では、車いすの操作の仕方を学び、実際に校舎内を車いすで移動しながらバリアフリーの大切さを学びました。10月1日(水)、5年生と6年生は総合学習の時間に認知症サポート養成講座がありました。長洲町社会福祉協議会の職員の方に来校していただき、認知症とはどのような病気か、認知症になった人などどのように接したらよいかなどについて学習しました。

全ての人々は基本的人権が保障され、幸せに生きる権利が憲法で保障されています。しかし、病気や年齢や性別などの要因で生きづらさを感じておられる方もおられます。これからの社会を生きる子どもたちには、病気や年齢や性別などに関係なく、いろんな人たちと協力し、助け合いながら生きていく力が必要だと思います。これは、本校の教育目標の「自立・協働・創造」にもつながるものです。後期では、4年生に点字の学習が予定されています。4・5・6年生のみなさんには、学んだことをこれからの生活の中に生かしてほしいと思います。



高齢者・車いす体験の様子。体験を通して、動きづらさや見えにくさを実感することができました。



認知症について学ぶ5年生児童



10月1日(火)にPTA朝の読み聞かせが行われました。また、10月2日(水)に5年生の家庭科の学習で長洲町婦人会の方に裁縫(手縫い)の学習のお手伝いをいただきました。お忙しい中にもかかわらず、子どもたちのために読み聞かせや学習支援に来ていただきました。ありがとうございました。



10月3日(木)、JMU(ジャパン・マリン・ユナイテッド)で進水式が行われました。本校6年生が参加し、新しい船のお見送りをしました。船の長さは、220mで、あまりの大きさにびっくりしました。長洲町の小学生だからこそ体験できた進水式です。貴重な体験ができました。

毎月17日は「ながす交通安全の日」